

質問日平成30年9月14日（金）

質問順位 1 矢部 一夫 （一括質問・一括答弁式）

1 企画行政

(1) 市長5期目のスタートにおける市政運営の方針について

- ア 市町村合併後の新市建設計画に基づく事業の進捗状況と地域別の構成比は
- イ 現在の市債残高や基金残高の状況も踏まえ健全財政を維持していくためにどのような財政運営を考えているか
- ウ 5期目のスローガンとして掲げたまちづくり3つの理念を踏まえた基本方針について

質問順位 2 橋本 稔 （一問一答式）

1 学校教育行政

(1) スクールカウンセラーの配置と役割について

- ア 現状の取組について
- イ 小学校への対応は

2 教育総務行政

(1) 小・中学校エアコン設置の現状と今後は

3 建設行政

(1) デマンド交通実証運行について

- ア 実証運行期間における検証内容と検証方法は
- イ 通院利用者の声の反映は
 - (ア) 予約時間の変更について
 - (イ) 市外の病院の選定について
- ウ コミュニティバスフラワー号の利用者増を図る考えはあるか

4 総務行政

(1) 利用者からの声として、鴻巣市文化センターのトイレ改修を行う考えはあるか

5 福祉こども行政

- (1) 子ども食堂の現状と今後の取組は

6 都市整備行政

- (1) 公園の名称

- ア 新設の公園の名称のつけ方は
イ 愛着ある名称は

質問順位 3 坂本 晃 (一括質問・一括答弁式)

1 企画行政

- (1) 新たな鴻巣市の発展に向けて

- ア 今まで目標としてきた「各地域の均衡ある発展と速やかな一体性の確立」について、今後も続けていくと思うが、市長の創造する鴻巣市の姿はどのようなものなのか
イ それに伴う計画はどのように

質問順位 4 菅野 博子 (一問一答式)

1 市長の行政姿勢

- (1) 投票率 35.00%をどう評価しているか
(2) 選挙公報の記載内容について市長の見解
ア 市債残高がなぜ一般会計だけか
イ 実質借入額が9,940,300千円とある。いつの時点でこの数値になるのか
ウ 基金残高104億円が財政の健全性の証明としている。税の単年度決算の原則をどうとらえているか
(3) 元荒川への新たな橋について
総費用はいくらか。選挙戦中の市民の声をどう受け止めたか
(4) ごみ処理施設建設候補地について環境資源組合構成市として市民の疑念に答えることは
ア 公正な選定が行われたと考えるか
イ カントリーエレベーター底地の売却で建設候補地の売買価格に影響することはないか

2 都市整備行政

(1) 鴻巣駅東口駅通り地区再開発事業

ア 鴻巣駅東口駅前地区地区計画が示された

- (ア) なぜ今なのか。本来「事業計画」「権利変換計画」が決定される以前に設定すべき
- (イ) 対象地域を再開発された土地に限る理由は何か。駅通りの向かい側B・D地区は今後どうするのか
- (ウ) 「風俗営業特に性風俗」と言うがA地区にはパチンコ店がすでに入っている。性風俗のみの制限をする地区計画とすべき
- (エ) そもそもこの土地はE地区再開発事業で24階のマンションが決まっていた。いつ変わり、地権者に説明されたか
- (オ) 2014年7月の都市計画審議会において事実を反する説明で事業が決められた。事実に基づいて見直しをすべき

(2) 固定資産税・都市計画税の減免について

ア 2017年12月22日に再開発組合の申し出でビルの「仮囲い解体除却」に合意している。ところが1月1日に建物があることで固定資産税・都市計画税が2018年度課税されている。この間、何十年も払ってきた。本来組合に請求すべき

イ 不公平な権利変換を正すべき

- (ア) 本町1丁目2829-4は固定資産税評価証明で98.54㎡平屋建倉庫木造亜鉛メッキ鋼板葺となっている。ところが職権で公図を訂正し197.08㎡で補償している。課税はどうなっているか
- (イ) 旗竿地は4～5割、奥行長大な不整形地は2～3割減価すべきものを10%の格差率しか適用しない不公平そのものを正すべき

3 学校教育行政

(1) 「教員の働き方改革」

ア 国の学力テストをやめることについて

参加強制権はない。現場の負担となる。成績最上位の福井県議会で「過度の学力偏重は避けること」の意見書が出ている。埼玉県では県のテストがある。

イ 市長の選挙公約の小学校教科（算数）支援員配置の充実について

1 環境経済行政

- (1) 多面的機能支払交付金について
 - ア 農村地域の現状
 - イ これまでの対応状況
 - ウ 制度の内容と推進状況
 - エ 近隣市町の状況
 - オ 制度の周知活動
 - カ 今後の方向性

2 総務行政

- (1) 有給休暇の状況について
 - ア 本市の職員の状況
 - イ 国の制度見直しに関する捉え方
 - ウ 改善策としての体制の見直し等
 - エ 今後の方向性

3 企画行政

- (1) ふるさと納税の推進について
 - ア 現在までの対応状況
 - イ リニューアルに至る経緯
 - ウ その具体的な内容
 - エ メリット・デメリット
 - オ 今後の動きは